

現代政策学部ポリシー

〔理念〕

現代政策学部は、本学の建学の精神である「学問による人間形成」に基づき、地域社会およびグローバル社会において有為な人材を育成するために、学生の豊かな感性や知識を涵養し、異文化への理解や他者への配慮を高めることを、基本的な理念とする。

〔教育方針〕

現代政策学部は、現代社会が抱える諸課題を社会科学の視点から解決し、地域社会およびグローバル社会へ対応できる、すぐれた職業人の養成を教育方針とする。そのために、幅広い社会科学分野の知識および思考に加え、言語表現、数理的思考、外国語、情報技術などの基本的能力、問題発見、問題解決、意思決定、他者への説明などの実践的能力、さらに課題に正面から取り組む公共的なマインドを、学生にバランスよく習得させる。

〔アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）〕

現代政策学部は、上述の理念および教育方針に基づき、以下の者を受け入れるというアドミッション・ポリシーを設定する。

1. 大学入学後の学習に必要な基礎学力を有している者。
2. 知的好奇心が旺盛で、主体的に学習する意欲がある者。
3. 地域社会およびグローバル社会に対する関心が高く、自ら課題を解決しようとする志を有する者。
4. 心身ともに健やかで、他者への配慮を心掛ける態度を有する者。

〔カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）〕

現代政策学部は、上述の理念および教育方針に基づき、以下のカリキュラム・ポリシーを設定する。

1. 幅広い社会科学分野の知識および思考を向上させるため、社会科学系各分野の科目をレベル別に設置する。
2. 言語表現、数理的思考、外国語、情報技術などの基本的能力を向上させるため、基礎科目をレベル別に設置する。
3. 地域社会およびグローバル社会における問題発見、問題解決、意思決定、他者への説明などの実践的能力を向上させるため、ゼミナール科目を1年次から4年次まで必修科目として設置する。

- 4.公共的なマインドと実社会での経験を向上させるため、プロジェクト型科目およびインターンシップ科目を設置する。
- 5.卒業後に実社会において、持続的にすぐれた職業人として活躍できるように、キャリアデザイン基礎などのキャリア教育科目を設置する。

〔ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）〕

現代政策学部は、学部所定の単位を修得した者が、以下に掲げる能力を身につけていると判断した場合、学士（現代政策学）の学位を授与する。

- 1.幅広い社会科学分野の学問的知識・思考に基づき、社会における課題を列挙し、課題解決のための方策を提示できる。
- 2.基本的な言語能力および数理的思考能力を用いて、職業人として必要な事務処理業務を遂行できる。
- 3.自らの考えを他者の考えと比較し、適切に表現できる。
- 4.地域社会およびグローバル社会の課題を発見し、その課題解決に取り組むことができる。

以上